

トウヨウキヒロヒラタヒメバチ
Xanthopimpla punctata

沖縄こどもの国

いきもの調査隊

vol.

2025/12

通信

29



隊員のいきもの調査日誌

キシント ピンプラ プンクタータ
トウヨウキヒロヒラタヒメバチ
Xanthopimpla punctata
ヒメバチ科

・調査日：2025年12月28日 9:30~11:45

・天気：晴れ ・気温：19℃

ごぜん きゅうえんちゅうえんない み まわ
午前^{きおん}は休園^お中の園内^{げんき}をゆっくり見て回り^{かつどう}ました。
だいぶ気温^みは落ちましたが、まだ元気に活動^みしているチョウやトンボを見かけましたよ！

隊員：古波蔵桜子

わたしはトウヨウキヒロヒラタヒメバチを紹介^{しょうかい}します。

このヒメバチは「キシント ピンプラ プンクタータ」という声に出すとなんと可愛らしい学名がついています。

このヒメバチは全体的にツヤのある黄色で、針が長く、10~12ミリの大きさで、可愛らしいフォルムをしています。翅は全体的に透明ですが、先端部分は透き通った茶色をしています。そんな見た目も名前も可愛いヒメバチ科の寄生バチは温暖な気候に多く生息しています。

このように、可愛いヒメバチさんなんですが、！

なんとイモムシの体表に産卵し、孵化した幼虫が宿主を内部から食い尽くすというワイドルな一面もあります。ですが、蝶や蛾の幼虫に寄生し、その体内で成長・蛹化・羽化する為生物的防除剤としても注目される蜂でもあります。その為、農家さん達にとっては農作物を食べられる心配は減るので助かりそうですね。

私が捕まえたときは、黄色が飛んでいるようで綺麗でした。私が捕まえた個体は20ミリと大型個体で、なかなか見つけられないレアな子でとても嬉しかったです。皆さんも捕まえてみて下さい！

いきもの調査隊 ってなーに？

研究者と一緒に、沖縄こどもの国に生息する様々な野生動物・植物を調査し、標本や図鑑を作成します。作成した標本や図鑑はこどもの国にて展示し、いろんな人に沖縄の身近な自然について知ってもらうボランティア活動です。



さとう先生、

植物 ありんくりん

佐藤 寛之 理学博士

さとう先生が教える、植物のあれこれ♪



やんばる路で冬を感じる季節の花

Farfugium japonicum
ツワブキ

おきなわ ふゆ め はな すく きせつ ふゆ はな
沖縄の冬は目につく花も少なくなる季節です。そんな冬に花を咲かすのがツワブキです。林道沿いの日当たりのいい場所などに綺麗な黄色い花が目につきます。咲き始めると冬、綿毛ができるころには冬の終わり、と季節を感じられる植物です。園内にも植えられていますので見てみてください。

とね先生、今月のイチむし

とね先生がイチオシの虫を紹介するコーナー♪
刀禰 浩一 沖縄市立郷土博物館学芸員

ナガグロヒラタアブ

ハナアブ科
ナガグロヒラタアブ
Dideopsis aegrota

ちょうさちゅう めせん すこ たか いち と むし
調査中、目線より少し高い位置をたくさん飛んでいた虫です。No.23のオオハナアブと同じハナアブ科で、ナカグロヒラタアブの詳しい生態はわかりませんが、ヒラタアブのなかまの幼虫はアブラムシを食べる益虫で、本種も同様だと考えられます。アジアからオーストラリアにかけての熱帯域に主に分布し、国内では九州以南で見つかっているようです。